

大区分	中区分	小区分	付箋紙意見等（○数字はテーブル番号）
地域における まちづくり  （※自治基本 条例第17条の 主旨に合った もの＝住民 自ら行うまち づくり）	姿勢	つながり	① 地域福祉のためのネットワークづくり(有償ボランティア) ② 地域のつながりが希薄になっている。まずはあいさつから。小さなことでも積み重ねが大事。 ② 地域の絆づくりが欠如すると老人の福祉、防災対策が遅れます。 ④ 横断歩道で老人に声をかけられる人になる。 ⑤ これから少子高齢化になっていく。対策として、地域のつながりを強く！ 市にもそのような機会を作って！ ⑧ 人数増の高齢者介護を補助していける町内会のつながりを強化していきたい。 ⑧ TVと碁を打たなくて良い町作り ⑨ 御近所(互近助・ごきんじょ)と仲良く。 ⑨ 一人暮らしの高齢者、誰か見てる。 ⑨ 大声で挨拶しよう。 ⑨ 人の為に行動する高齢者がいる。
		楽しく	① 町内の人々が有意義に楽しく生きがいを感じられる施策 ③ 本町に月替のイベントを計画したら。
		その他	⑤ 課題解決も必要だが、良い面を伸ばすことがもっと必要。 ⑦ 地域＝高齢者ではない。あらゆる世代を考慮に入れて地域の問題を考えるべき。
	組織	町内会、地域 づくり協議会	① 町内会組織、システムづくりをしっかりできれば運営につながる。 ① 町内会と地域づくりの関係 ① 町内会は任意団体ではあるが、ある程度行政側の指導も必要な時がある。 ③ 町内会や地域づくり協議会は一宮市の行政の下請けではない。 ⑧ 地域づくりには市議会も参加する様にする。 ⑧ 町内会活動、昔からのやり方にこだわらず、現状に合わせた活動しやすい形にしていくことが大切。 ⑨ 町内会、ルールをきちんと守ろう。
		その他	② 町内会などの既存の集団でなくても、新たな枠組みでも地域づくりはできるのが新たな発見 ⑧ 地域の住民が参加しやすいシステム(組織)を作る。 ⑧ 連区のあり方に温度差がある～。 ⑧ まち作りの組織の概念が古い(新しいネットワーク)
	まちの姿	防犯	① 防犯カメラ、防犯灯、街頭消火器、必要なものは早急に設置したい ② 防犯カメラの電気代等の補助を ③ 防犯カメラは私達の町にぜひ設置してほしいです。 ⑦ 防犯カメラの設置を連区を上げて考える。 ⑨ 防犯灯、防犯カメラを設置しよう。
		交通安全	② 老人の交通事故を防ぐ方法として、①ボランティア交通委員を雇うとよい ②老人への声かけを多くする ② 子供の交通事故を防ぐ方法として、①交通安全室等でスタントマン等と呼んで実際に事故の恐ろしさを実感させるとよい。
		子育て	⑤ 市民の方が先生になっての放課後活動を実施する！
		防災	⑨ 自分たちで防災マップを作ろう。
	担い手	ボランティア	⑧ 机上論が多く、身近な実行できる内容が無かった。一つ一つテーマについてボランティアを募り実行していったらどうでしょう。 ⑧ ボランティア、出来る人がやる、出来る事をやる。 ⑨ ボランティア活動も健康の証。
		若者	⑤ 若い人の声を反映させたい、反映させてほしい、反映していきたい。 ⑤ 若い人が参加できるテーマをつくる！ ⑤ 若い人も参加 → 楽しさが一番
		みんなで	⑥ 高齢者も若者もすべての人たちで地域を良くする場をつくる。 ⑧ 町内の事業には子供会、老人会も合同で参加するようにする。
	情報発信	地域が発信	⑤ まずは、良い面を発信していく！ ※自分の地域の課題が見つければ、解決するようにする。 → 若い人も参加しやすい。 ⑤ 地域の良いところをみんなでアピールしていこう！ ⑤ 地域づくりがどのように行われているのか、誰が行っているのか知りたい。 → そうすれば自分も参加できるかも。
		市も発信	③ もっともっと市の情報とか、他の連区の情報を知りたいがどうしたらよいか。市役所の人員では限度はあるけど・・・。
	その他		① 本町商店街 ② この会議で地域づくり協議会の事があまり理解している人がいないですね。 ⑥ いかにも自分の住んでいる地域が安心、安全、便利が見えてきた。(宮西) ⑨ 連区のギャップはあるけれど、まっすぐに進めばいいと思う。 ⑨ 一宮高校の生徒の自転車マナーが悪いので、もっと良く指導してほしい。

※ 自治基本条例第17条(地域におけるまちづくり)

市は、地域の意思を反映させ、地域内の住民が自主的に身近な地域の課題の解決を図り、地域のことは地域内の住民が自ら考え、実行できるようにするため、連区(地域の合意による複数の町内会)で形成された区域をいいます。)単位でまちづくりを進めるための施策を講じます。

大区分	中区分	小区分	付箋紙意見等（○数字はテーブル番号）
ワークショップ	いまひとつ	当日	⑤ 今日のような会の進め方では、次回の参加者は減るのでは？ ⑤ ワークショップの目的がはっきりしていない。 ⑤ 司会者は繰り返す必要はない。時間を守るようにすべき。 ⑤ 市から依頼して参加している人が何人かいるようだが、そういう人はなしがよい。 ⑤ もっと気楽な会を想像していたが、そうではなかった。 ⑦ 若者が意見しやすい場所を作ってほしかった。 ⑦ 市職員の初めのプレゼンは10分程度で済ませられる内容だったと思う。 ⑦ 参加者の関心にあまりにもばらつきがありすぎる。ある程度、テーマごとに参加者をまとめないと話の深まりが全く生まれない。 ⑦ いくら気軽な話し合いでも、最低限のルールを決めておかないと話し合いはうまくいかない。（例）1人が長く話しすぎない。相手の発言を否定したりさえぎったりしないetc. ⑦ 市職員の話は極力短く、参加者の話も極力短く、そして多くの人に発言の機会を与えてほしい。 ⑦ 参加者からの発表に対していちいち責任ある回答をしようとしなくてもよい。
		当日以降	③ まちづくりワークショップの開催報告アップと継続希望。 ③ 出てきた意見をまとめて報告書(文書)にしていってほしい！ ⑦ 参加者の意見を必ず市の人たちで話し合ってもらいたい。
	よかった	① 初めてです。75才です。来て良かった。ここに出席してみえるかたのようにならなければ。 ⑨ 今年はテーマが的中しすぎて、思いがはじめてしまったけど、第一歩にしたい。	
その他	防災、防火	② 防災倉庫の設置 ③ 防災マップはどうなっているのか？ いつできるのか？ ③ 大雨が降ると155号の前後は冠水して最大で30～40cm、巾150cmになります。対策は？ ③ 防災マップ、ハザードマップの作成は急務では。今は資料が何も入らない。 ⑦ 防災マップを早急に作る。市民の意識を高める。 ⑦ 消火器の買い替え	
	尾張病院	③ 尾張病院の活用が大切に思いました。 ③ 尾張病院の利用は？ ⑥ 県立尾張病院の跡地の利用を！！ ⑦ 尾張病院跡地 認知症予防健康センター開設	
	連区、学区	③ 地域づくりといってもいろいろあるので、学びとなりましたが、連区と学区等の区分はしっかりやって欲しい。 ③ 連区制、学区制の弊害。神山、末広の両校の生徒はとまどっている。 ⑥ 連区制の運用の見直しが必要になってきている。（形骸化が心配）	
	情報発信	① 発信力を考えてほしい ⑤ 通り一遍の情報発信ではなく、それぞれの方々にあった情報発信、情報交流が必要。	
	観光	③ 一宮タワーにたくさんの方が集まれるよう ④ 企業は誘致されそうにないので、観光(ウォーキング)の町として試みてはどうか。	
	認知症	③ 認知症については、予防とか遊具とか病院とか出たが、時は待っていない。最善を。 ⑦ 認知症予防健康遊具設置	
	買物難民	③ 買物にも大変手間がかかる。対策は？ 買物難民について。 ⑨ 一宮で買物をしようと思っても、スーパーでも早く閉店するので、なかなか買物に行けない。	
	競輪場跡地	③ 競輪場の跡地はどうする？ どうなった？ ⑨ 競輪場の跡地に映画館のようなアミューズメント施設を作って楽しめる場所をふやしてほしい。	
	空家	③ 空家、空地や、所有者不明の土地を整理して下さい！	
	交通	③ 交通網の充実を。どこに出かけるのも自家用車対応しか考えられない施設作りでは駐車場がいくらあっても・・・。	
	中心市街地	③ 中心市街地の再開発は？ 「できない」のか「やらない」のか「したくない」のか？	
	都市計画	③ 都市計画にはたくさん問題があります。	
	市民会議	③ 市民と行政との協働で「市民会議」を再開していただきたい。	
	工場誘致	④ 税収を増やすために工場誘致、物流倉庫etc. 農地転換をしやすくする。	
	人材活用	⑤ 一宮市にはそれぞれ特技やテーマをもって活動している人がいる！ こういった方が活動できる環境づくりを！	
	特産品	⑦ ふるさと納税にふさわしい品物をピックアップして一宮市らしいものをつくる。	
	行政	⑧ 行政と協働でまちづくりをする為には、行政は実態を見てから参画して欲しい。	
	人口増	⑨ 市税収入が少ないなら、人口を増やす。そのためには、暮らしやすい町づくりを考える。	
	青年の家	⑨ 青年の家を壊さないで、防災備蓄倉庫などの利用法を考えてほしい。	
	木曾川	⑨ 木曾川の今ある自然を生かそう。	
	その他	④ 連絡をとりやすいスマホに変える。 ④ 議会だよりをよく読む ④ 市長が変わっても職員は何も変わってないなど。 ⑨ 様々な思いを「よいまちづくり」にみんなでつなげていこう！	